



## 海外 稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

登録稲門会 検索

現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。  
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

### 会長メッセージ

**私** が南インド、バンガロールの地に赴任してきたのは2012年の年末でした。暮らして始めて数カ月で、早稲田の優秀な仲間を次々と知ることができ、稲門会を設立。会合は毎回盛況で会員数は減ることがありません。これも幹事団による日頃のさまざまな尽力の賜物と思っています。

私自身が久遠の理想を今でももち続けているかは疑問ですが、会員は大なる使命を担っているという気概をもって、非常に心強く感じます。当会発足後、既にバンガロールを去られた会員の方々も多くなってきましたが、会合のたびにインターンシップや留学でいらっやっている現役学生諸君が参加してくれますし、新

たに赴任されていらっやった方々とお会いすることができます。

バンガロール稲門会旗のもと、「集り散じて人は変れど 仰ぐは同じき 理想の光」。早稲田を卒業して良かったと思わせてくれる、バンガロール稲門会です。

中島 新(1981年理工)



ヴィダーナサウダ(カルナータカ州政府庁舎)

### 会員からのメッセージ

**イ**ンドのシリコンバレー」といわれるバンガロール。その名のとおり、IT産業が非常に盛んで、世界中の企業が開発拠点を構えており、インドのみならず世界中からエンジニアが集まっています。最近では起業も盛んになり、年齢や国籍を超えた、まさに「多様性」がキーワードの街。バンガロール稲門会も当地の環境に負けず劣らず多様なメンバーが集まり、卒業年や学部を超え、ハイテクの街で校歌を歌って飲み明かしています。

早川洋平(2000年法学)

**夫**の赴任でバンガロールに来て3年になります。バンガロールの最大の魅力はインド映画。地元のカンナダ語をはじめとする南イ

ンドの言語、インド公用語のヒンディー語などの映画が常時40本ほど上映されています。

バンガロールで製作されるカンナダ語映画は、特産の白檀にちなんでサンダルウッドと呼ばれています。古くからの大きな映画館が立ち並ぶバンガロール・シティ駅前はサンダルウッドを象徴する地域で、カットアウトと呼ばれる、主演スターをかたどった巨大な看板が林立しています。話題作の公開に合わせてカットアウト巡りをするのも、バンガロール暮らしの楽しみの一つです。

岡 満美子(1988年理工、90年工研修)

**「群**れないワセダも、たまには群れる！」を合言葉に、2014年に発足した当地稲門会。合言葉のとおり、何だかんだと理由を付けては頻りに集まって、数少ない日本食店を毎回「高田馬場状態」にしています。昨年からは三田会との定期交流会も開始。早稲田らしく人数と勢いで圧倒し、最後は無理やり「紺碧の空」の合唱に繋げてしまいます。この地の生活でみな苦労しているのは当たり前。どんなに飲んでも愚痴はこぼさず、早稲田魂のもとに世代を超えて結束を深めています。

小江朋治(1989年商学)

### バンガロール稲門会について

**「え** ? あなたもワセダでしたか」  
バンガロールの在留日本人数がそろそろ1,000人に届こうかという2013年、そんな会話がバンガロール日本人社会のあちこちで交わされるようになり、ワセダゆかりのメンバーが集まって初めての懇親会が開催されました。

「集り散じて 人は変れど」と言いますが、海外の特性として人の入れ代わりが本当に頻繁です。これからバンガロールに仕事や学習でやって来る校友のために「心のふるさと」を当地に設けておく必要を感じ、2014年3月、17名のメンバーでバンガロール稲門会を発足しました。

2016年3月現在、登録会員数は33名。在チェンナイのメンバーやインターンでやって来る学生も含めて数カ月に一度顔を合わせ、お互いの

近況から学生時代の思い出まで、はたまた「インドあるある」話で盛り上がり、バンガロールの紺碧の空のもと、日輪を仰ぎつつ、一瞬だけ現世を忘れて親睦を深めています。

西田千博(1990年政経)



集合写真

### バンガロールの魅力

**皆**さんは、インドという何を思い浮かべますか？ 野良犬、野良牛、野良人間、一方通行を逆走する車、歩道を走るバイク、信号待ちの車に密集する物乞い、空き地に積み上がった生ゴミの山、マハラジャ、IT長者、雪を頂くヒマラヤ、ヤシの木のあるビーチリゾート、タージマハル、PM2.5……。

こういったインドを一言で言い表すと「多様性」、いわば「何でもあり」の国です。この何でもありの国のなかでも、私たちのいるバンガロール(正式名称はベンガルール)は、「暑い」といわれる南インドにありながら、標高920メートルの高地であることとステップ気候のおかげで、夏は涼しく、冬は暖かい環境下にあります。

またバンガロールは、インドのほかの都市にありがちなアルコール類の購入制限もなく、最近では自家製ビールが楽しめる地ビールパブも増えてきました。インド産のワインも種類が豊富にあり、世界のワインと比べても引けをとらないほどの品質になってきています。そして、日本人の食生活に欠かせない牛肉も、ここバンガロールでは買ったり食べたりすることができるのです。

前島昭典(1985年商学)



映画の主演スターをかたどった看板、カットアウト



左、カルナータカ州第2の都市にあるマイソール宮殿  
右、世界遺産のハンピ建造物群